

1. 取組の経緯

- 平成29年度に全庁的に庁内版タイムラインの作成を開始したことで、要配慮者対策が課題として浮彫となった。
- 令和元年台風第19号において要配慮者への対応が課題となり、福祉部局と防災部局、保健所が連携し、避難行動要支援者の風水害の避難支援を想定した対応策について検討を進めた。
- 地域から、より実効性の高い避難支援対策を求める声があがった。

2. 現状と課題

現状：避難行動要支援者名簿の登載者数が多く、全員を支援するのは難しい。
名簿に「自助で避難できる人」と「家族の手助けで避難できる人」等が混在。
課題：真に避難支援が必要な者を把握するため、名簿登載者の分類が必要である。

3. 取組方針【ポイント】『課題共有による意識改革』と『部局を跨いだ認識の摺り合せ』を重視して取り組む

- ① トップダウンによる意識改革（市長協議や危機管理対策検討会議での課題共有）
- ② ボトムアップによる意識改革（台風第19号に係る災害対応報告会で課題共有）
- ③ 綿密なコミュニケーションによる認識の摺り合せ（40回以上の打合せ、チャットを活用）

4. 取組を通じた変化

- 組織全体に対し課題共有ができ、意識改革が図れた。
- 各担当者が部局の垣根を越え、話し合いを重ねる中で互いに歩み寄れた。

取組内容

- ① 庁内の推進体制の整備
- ② 真に避難支援が必要な者の把握を目的に「チェックリスト」を作成
- ③ 庁外の関係者との協力体制を構築
- ④ 個別避難計画（避難行動シート）

取組のポイント 「チェックリスト」を作成し、要支援者を支援の分類毎に振り分け

- ① モデル事業では、3つの設問で要支援者毎の避難支援の必要性を確認した。
- ② 実施時は、要支援者本人に加え、ケアマネジャー・地域包括支援センター・自主防災組織・市職員も同席し、要支援者の身体状況等を正確に捉えた結果が得られるようにした。

モデル事業で実施した要支援者		43人
①	自助の備え	うち17人
②	共助による支援検討	うち10人
③	公助による支援検討	うち16人

表紙	
チェックリスト	
記入日 年 月 日 作成にかかった時間： 分	
【記入者の情報】	
居宅介護支援事業所等名 ふりがな お名前 電話番号	
【ご本人の情報】	
ふりがな お名前 住 所	
避難行動要支援者支援制度の説明をした上で、避難行動要支援者同意確認書の同意が得られたか？ ☐ 同意が得られた ☐ 同意が得られなかった 理由	
☐ 自助の備え ☐ 地域による支援の検討 ☐ 地域と「福祉支援協議」で避難行動シートを作成	

済印

	所属機関を記入 □ 〇 □ × である。〇でなければ ×である。	
質問	【自力】 自力で 補助	回答する時のルール
問1	連絡簿で生活できますか？	※連絡簿について、 次の3つの条件に1つも満たさ ない場合は、 次の3つを2つ満たす。 ① ② ③
問2	連絡簿以外で連絡できますか？	
問3	いつ連絡するか事前に決めますか？	※連絡簿について、 次の3つの条件に1つも満たさ ない場合は、 次の3つを2つ満たす。 ① ② ③

問1～問3の回答がすべて「是」、以下2つを2つ満たす。

【質問1】 問1と問2の「〇」の数を数える

〇の数の場合

【建設心①】 問1の建設は回答する

1つでも「〇」ある 全て「〇」

※連絡簿以外で、連絡がとれる
連絡簿以外でも作成

〇の1個目の場合

【建設心②】 問2の建設は回答する

1つでも「〇」ある 全て「〇」

※連絡簿以外で、連絡がとれる
連絡簿以外でも作成

必要ない

【質問2】 問2の「建設」に、連絡の専門
的な知識が必要でいいか？

必要

必要

必要

☐ 自動的・偶発
的な来訪への対応と対応

☐ 来訪による支援の検討

☐ 自動的・偶発
的な来訪への対応と対応

☐ 来訪による支援の検討

☐ 自動的・偶発
的な来訪への対応と対応

☐ 来訪による支援の検討

☐ 自動的・偶発
的な来訪への対応と対応

☐ 来訪による支援の検討

☐ 自動的・偶発
的な来訪への対応と対応

☐ 来訪による支援の検討

☐ 自動的・偶発
的な来訪への対応と対応

☐ 来訪による支援の検討

☐ 自動的・偶発
的な来訪への対応と対応

☐ 来訪による支援の検討

☐ 自動的・偶発
的な来訪への対応と対応

☐ 来訪による支援の検討

☐ 自動的・偶発
的な来訪への対応と対応

☐ 来訪による支援の検討

☐ 自動的・偶発
的な来訪への対応と対応

☐ 来訪による支援の検討

☐ 自動的・偶発
的な来訪への対応と対応

☐ 来訪による支援の検討

☐ 自動的・偶発
的な来訪への対応と対応

☐ 来訪による支援の検討

☐ 自動的・偶発
的な来訪への対応と対応

☐ 来訪による支援の検討

☐ 自動的・偶発
的な来訪への対応と対応

☐ 来訪による支援の検討

☐ 自動的・偶発
的な来訪への対応と対応

☐ 来訪による支援の検討

☐ 自動的・偶発
的な来訪への対応と対応

☐ 来訪による支援の検討

☐ 自動的・偶発
的な来訪への対応と対応

☐ 来訪による支援の検討

☐ 自動的・偶発
的な来訪への対応と対応

☐ 来訪による支援の検討

☐ 自動的・偶発
的な来訪への対応と対応

☐ 来訪による支援の検討

☐ 自動的・偶発
的な来訪への対応と対応

☐ 来訪による支援の検討

☐ 自動的・偶発
的な来訪への対応と対応

☐ 来訪による支援の検討

☐ 自動的・偶発
的な来訪への対応と対応

☐ 来訪による支援の検討

☐ 自動的・偶発
的な来訪への対応と対応

☐ 来訪による支援の検討

☐ 自動的・偶発
的な来訪への対応と対応

☐ 来訪による支援の検討

☐ 自動的・偶発
的な来訪への対応と対応

☐ 来訪による支援の検討

☐ 自動的・偶発
的な来訪への対応と対応

☐ 来訪による支援の検討

☐ 自動的・偶発
的な来訪への対応と対応

☐ 来訪による支援の検討

☐ 自動的・偶発
的な来訪への対応と対応

☐ 来訪による支援の検討

☐ 自動的

1. 令和 3 年度の成果と課題

➤ 達成したこと

- ① モデル事業のスキームに対する合意形成
- ② 風水害を想定した個別避難計画を 4 3 件作成した。
- ③ モデル事業の実施結果に関する検証
- ④ 避難行動要支援者支援制度に係る検討の推進

➤ 達成できなかったこと

地震を想定した個別避難計画は作成できなかった。

➤ 取り組む中で生じた課題

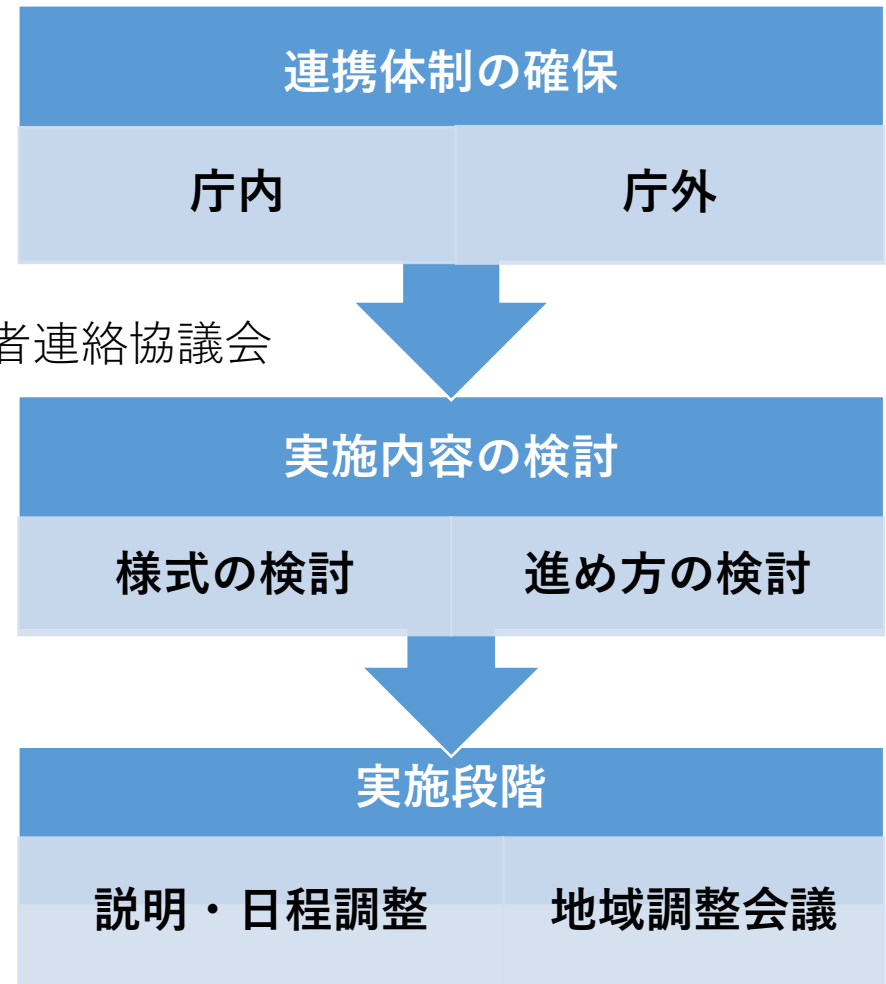
- ・ 関係課毎に平時の業務が異なる等の理由から、本取組の目的意識にずれが生じた。
- ・ 部局を跨いだ意思決定に膨大な時間と労力が必要であった。
- ・ 庁外関係者の参画範囲が限定的だった。

2. 今後検討すべき課題

- ・ チェックリスト、個別避難計画の全市展開手法の確立
- ・ 避難支援体制の確保等に関するスキームの確立
- ・ 避難行動要支援者支援計画（全体計画）の改訂・全市展開は令和 4 年度以降に実施予定。

1. 連携体制の確保

- ① 庁内の推進体制の整備
- ② 庁外の関係者への説明
 - まちぢから協議会（自治会連合会）
 - 民生委員・児童委員協議会
 - 地域包括支援センター
 - 居宅介護支援事業所
 - 一般社団法人茅ヶ崎介護サービス事業者連絡協議会



2. 実施内容の検討

- ① チェックリスト、個別避難計画の作成
 - 庁内調整
 - 庁外の関係者への説明、意見聴取
- ② 事業の進め方の検討
 - 感染症対策を踏まえた実施方法の検討（オンライン形式で実施した地域調整会議）

3. 実施段階

- ① 避難支援等関係者への説明
- ② 日程調整（対象者、ケアマネジャー等、自主防災組織、市職員）
- ③ 地域調整会議（個別避難計画の作成）